

33

千代田区景観まちづくり重要物件

志村印刷

指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

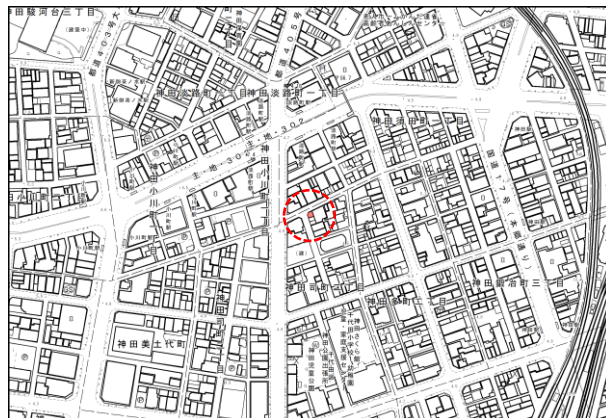
所在地 神田司町二丁目 10 番地

設計者 不詳

竣工 昭和初期（1930 年頃）

文化財等
指定状況

-



▲改築後も 3 連のマンサード屋根が継承された志村印刷

歴史・文化的特徴

昭和初期の長屋建築を残している建物です。3連のマンサード屋根は他に例を見ない構造となっています。

エンピツハウスという愛称が付けられていましたが、2011（平成 23）年に改築が行われ、3 連のマンサード屋根は残ったものの、大きく外観が変更されました。



▲改築前の志村印刷

意匠・構造の特徴

3 軒の長屋建ての各棟それぞれにおいて、マンサード屋根の輪郭を見せるような屋根裏部屋の妻面をファサードとした、ユニークな外観となっています。

周辺景観との関係

外堀通りと一八通りが交差した北東側のエリアに戦前の歴史的建造物が多く残っています。その多くは、店舗などとの併用住宅スタイルの看板建築で、装飾の少ないシンプルなものが多い中で、この志村印刷の建物はマンサード屋根が個性を見せています。

近年では看板建築が減少しており、貴重なものとなっています。